

国語科・総合的な学習の時間
「調べたことを整理し、発表しよう
—だれもが関わり合えるように—」

藤沢市立明治小学校



単元（題材）目標

- 関心のあること等から話題を決め、必要なことを調べて要点をメモすることができる。
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づく。
- 様々な障がいについて理解を深め、生活における工夫や配慮について調べる。

(1) 実施時期

令和元年9月中旬～

(2) 対象（学年等・人数）

第4学年 144名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年担任

(4) 実施内容

- 国語科「だれもが関わり合えるように 手と心で読む」を通じて、点字や思いを伝え合うことの大切さを学んだ。
- 発展学習として、障がいがある人にむけた配慮や工夫、思いや気持ちを伝える方法としての手話などについて本やインターネットで調べ、わかったことを発表し、共有する活動を行った。



(5) 成果

- 障がいのある人が、よりよい生活を送るための工夫や方法の一つとして手話があることを学び、関心と知識を持つことで誰かの役に立てることを知ることができた。また、点字と同様に、自分の気持ちや考えを伝えることの大切さをより学ぶことができた。

(6) その他

- 参観に来た保護者や他学年の児童の目にふれるよう、発表が終わったあとは各学級の廊下に資料を掲示した。